

インシデントレポートの医師・歯科医師からの報告数、一人当たりの報告数

算式

1年間の医師・歯科医師からの報告数/医師・歯科医師数（件）

対象

院内で報告されたインシデントレポート全件数

考察

報告のあったインシデントレポートのうち、医師・歯科医師の報告数、一人当たりの報告数を示したものである。医師・歯科医師は手術、検査・処置などで患者に直接的に医療行為を行っており、懸念や影響度レベルの低いインシデントやアクシデントに直面する機会も多く、安全上の非常に重要な情報を持っていることが多い。「インシデントレポート総数が病床数の5倍、そのうち1割が医師からの報告」というのが透明性が高い組織の目安と言われている。2024年度の医師報告割合は約7.8%と徐々に増加傾向である。医師からのインシデントレポート割合を増やすため一人当たりの報告件数の目標値を1件と定め、組織的な安全文化（報告の文化）の醸成に向け、引き続き医療安全管理部が主導となり対策を講じていく必要がある。

計画

インシデントレポート件数だけでなく、医師からの報告割合も組織的な安全文化醸成の指標となる。今後も、安全な医療の提供のために、当院の安全文化醸成のひとつの指標として医師からのインシデントレポート報告数をモニタリングし、より効果的な安全文化醸成への取り組みに繋げる。

（当院の医師一人当たりの報告件数目標値：1件）

